

〔目的〕フィラデルフィア博覧会(1876)の出品物については、その一部を第45回大会で報告しているが、本報では日本の出品物に焦点をあて、その概要を知ろうとするものである。この博覧会は1867年と1878年の二つのパリ万国博覧会の間にアメリカで開催されている。パリの両博覧会への日本の参加がジャポニズムの盛行を促したと言われており、同じ時期アメリカでの日本からの万国博覧会への参加と出品は、人々に大きな関心と影響を与えたと思われる。しかし、この博覧会における日本の出品物の紹介や記述は断片的であり、曖昧な部分も多い。本研究はこうした点に対する解明への足掛かりを得ようとするものである。

〔方法〕Official Catalogue of the Japanese Section Published by the Japanese Commission, 米国博覧会報告 日本出品目録 貳, International Exhibition 1876 Official Catalogue, International Exhibition 1876 Report and Awards, 当時の会場写真その他におけるフィラデルフィア博覧会の日本の出品物の記録の分析と考察。

〔結果〕フィラデルフィア博覧会の出品物は、I 鉱業及び冶金術、II 製造物、III 教育及び知学、IV 美術、V 機械、VI 農業、VII 園芸の7部門に大区分されているが、日本からはV 機械を除いてすべての部門に出品している。また IIIの部門に属するが、敷地内には日本の建物を二棟、日本人の職人によって建設している。日本の出品物は I, II, III, IVの部門ではMain Building(本館) 内に、VIの部門ではAgricultural Building (農業館) にそれぞれ展示され、VIIの部門は日本建築の一棟に配し、日本庭園として展示された。また、会場の様子を示す写真には、陶器や銅器などの工芸品を多く写したものが残されている。